

FAQ [署名に問題があります] 表示の対応

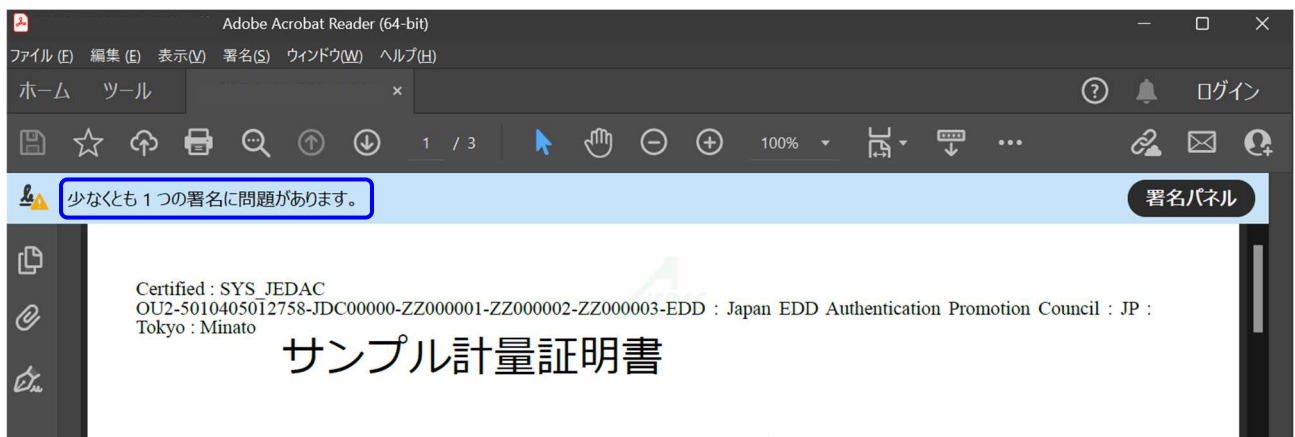
初版：2019/08/14

最終更新：2024/12/04

一般社団法人日本 EDD 認証推進協議会

【現象】

- 電子署名済みの PDF の署名ステータスが、「少なくとも 1 つの署名に問題があります」や、「署名の完全性は不明です」などの表示になる
 - この現象は、初めて署名済みの PDF を扱う時や PC の変更などで PDF リーダーの環境設定が不足している場合、あるいは、認証局のルート証明書の更新により新しいルート証明書がまだ読み込まれていないタイミングなどで発生することがあります
 - この現象は、署名やタイムスタンプが損なわれているわけではなく、環境設定の状態などの何らかの理由で、単に署名情報が検証できずに不明な状態の時に表示されます



基本的には PDF リーダーの署名検証に関する環境設定に依存するので、本資料を参考に環境設定を調整してください（通常は一度設定すれば完了です）

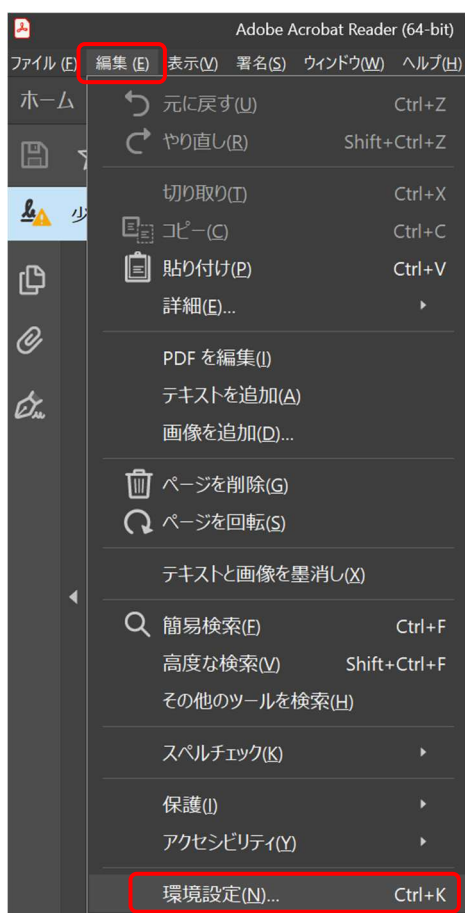
※本資料の解説画面の環境は、Windows11、Adobe Acrobat Reader (64-bit)です

※バージョン等で、画面の表示が多少異なる場合がありますので、適宜読み替えてください

以降の手順 1， 2， 3 を順番に実施していただき、手順の切れ目で署名の再検証を行った時に、署名ステータスが「署名済みであり、すべての署名が有効です」になった所で完了して結構です

1. 【署名検証の環境設定】

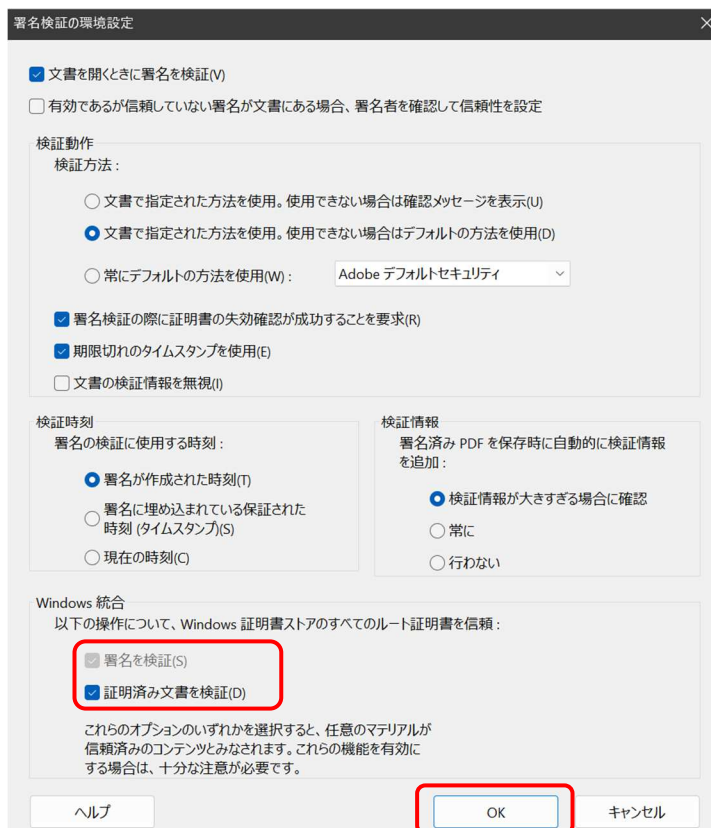
1.1. 対象 PDF を Adobe Acrobat Reader で開き、[編集]-[環境設定]を選択します



1.2. 左側で[署名]を選択し、右側で[検証]の[詳細]ボタンをクリックします



1.3. [Winsows 統合]の2つのチェックボックスをオンにして、[OK]をクリックします



※両方をオンにすると次に開いた時に[署名を検証]の方はグレー表示になります

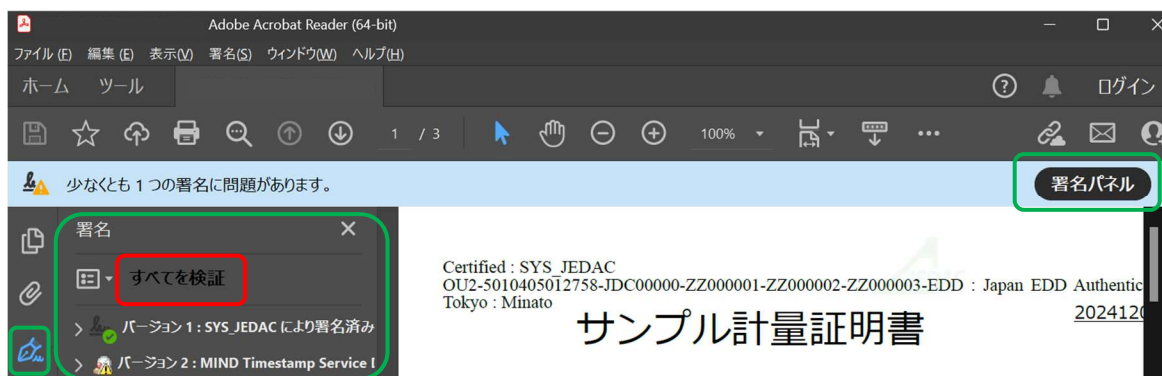
1.3.1. 環境設定に戻るので、[OK]ボタンで閉じます

※[OK]ボタンが隠れている場合、スクロールバーでスクロールさせて表示してください

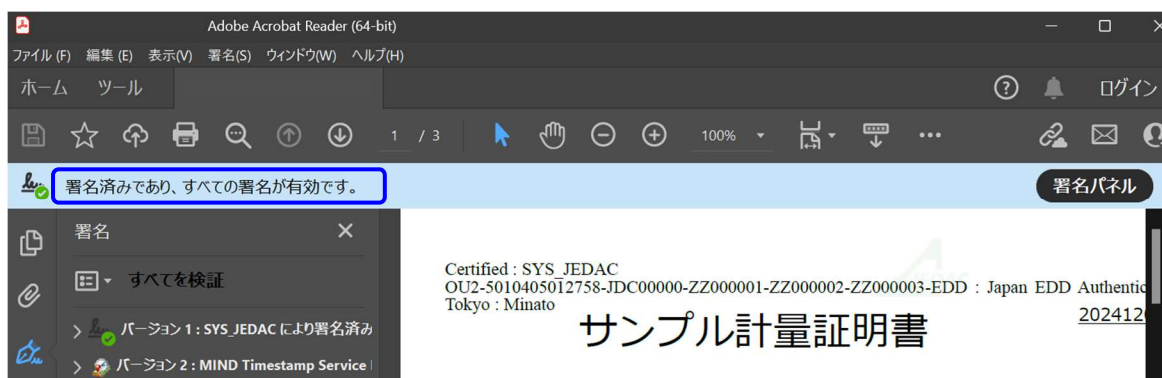


1.4. 電子署名の再検証

- 1.4.1. 対象 PDF の[署名パネル]ボタンか、[署名]アイコン（万年筆のペン先のようなマーク）をクリックして、署名パネルから[すべてを検証]をクリックして署名を再検証してください



※署名を再検証して、「署名済みであり、すべての署名が有効です」に戻れば完了です



2. 【Adobe Approved Trust List (AATL) の最新化】

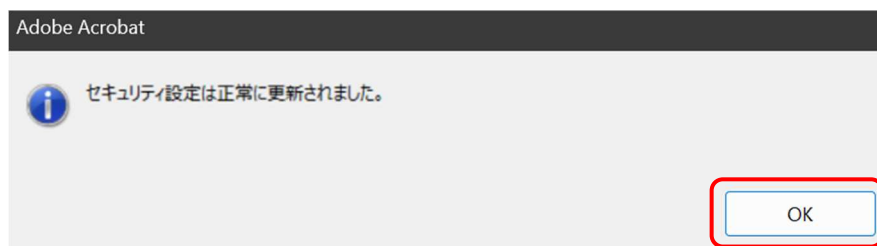
2.1. 対象 PDF を Adobe Acrobat Reader で開き、[編集]-[環境設定]を選択します

※ここは手順「1.1.」と同じなので画像は省略します

2.2. 左側で[信頼性管理マネージャー]を選択し、右側で[Adobe Approved Trust List (AATL)の自動更新]の[Adobe AATL サーバーから信頼済み証明書を読み込む]のチェックボックスをオンにして、[今すぐ更新]ボタンをクリックします



2.2.1. 「セキュリティ設定は正常に更新されました」のポップアップが出れば、AATL が最新化されましたので、[OK]ボタンをクリックしてください



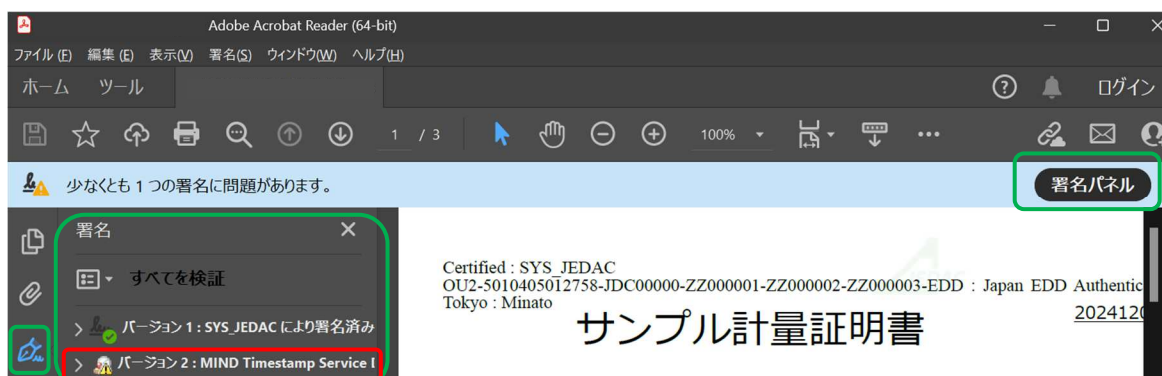
※環境設定で[今すぐ更新]ボタンをクリックしても反応がない、または、このポップアップが出ないという場合は、御社のネットワークやクライアント PC のセキュリティの設定等で、AATL を自動で取得できない状態になっている可能性がありますので、御社の情報システムの管理者にご相談いただくか、後述のルート証明書の手動登録の手順をお試しください

2.3. 前述の手順[1.4.電子署名の再検証]を実施してください

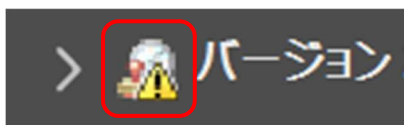
3. 【ルート証明書の手動登録】

※本手順は、信頼できるサービスを用いて電子署名とタイムスタンプを付与したことが分かっている PDF を使って実施してください

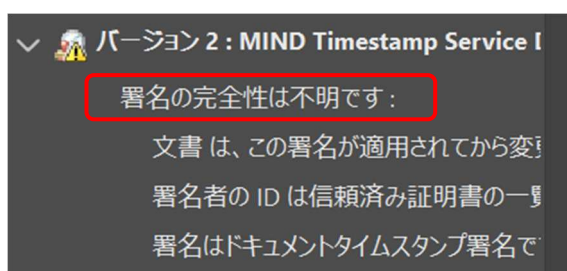
- 3.1. 対象 PDF の[署名パネル]ボタンか、[署名]アイコン（万年筆のペン先のようなマーク）をクリックして、署名パネルから、署名の検証に失敗している証明書（黄色の三角形に“！”のマークがついているもの）を確認します



署名の検証に失敗している証明書は、黄色の三角形に“！”のマークがついたアイコンになっています



アイコンの左の“>”をクリックすると概要が表示され、署名の検証に失敗している証明書の場合は、「署名の完全性は不明です」などになっています



- 3.1.1. 署名に失敗している証明書を“右クリック”して、[署名のプロパティを表示]を選択します



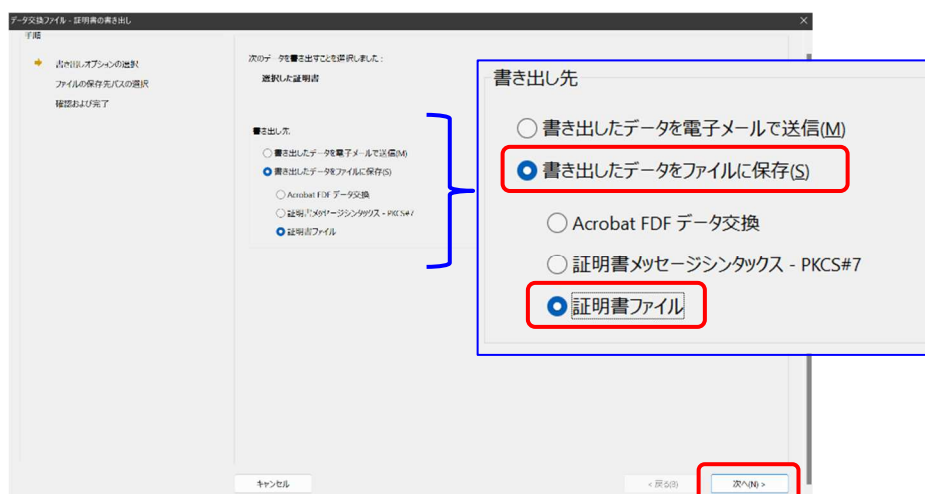
3.2. [署名者の証明書を表示]ボタンをクリックします



3.2.1. 左側の“一番上”のルート証明書を選択して、[概要]の[書き出し]ボタンをクリックします

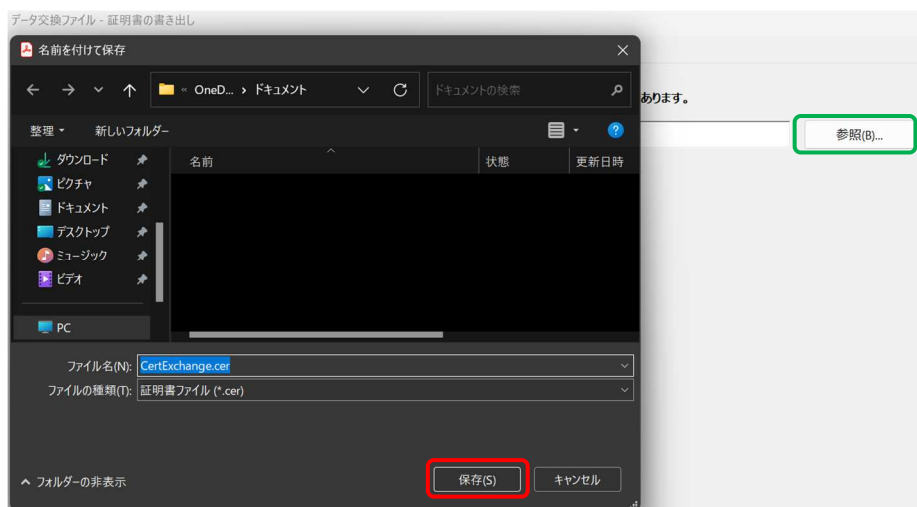


3.3. [書き出したデータをファイルに保存]と[証明書ファイル]のラジオボタンを選択して、[次へ]ボタンをクリックします

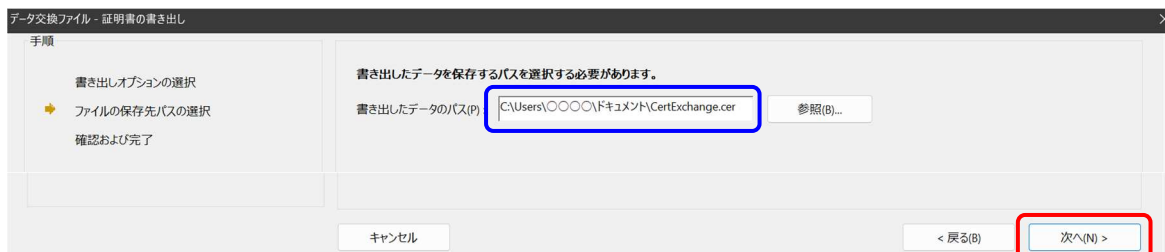


3.3.1. [名前を付けて保存]ダイアログで、「ドキュメント」や「ダウンロード」など、後で分かりやすい任意のフォルダを指定して、[保存]ボタンをクリックします
(この時点ではまだファイルは保存されません)

※自動でダイアログが表示されない場合は、[参照]ボタンをクリックしてください



3.3.2. [書き出したデータのパス]欄にパスが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします



3.4. 確認画面で[完了]ボタンをクリックすると、指定したパスにファイルが保存されます

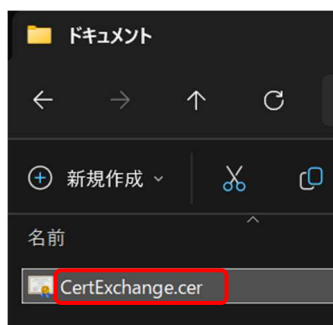


3.4.1. 証明書ビューア画面に戻るので、[OK]ボタンをクリックします

※[OK]ボタンが隠れている場合、スクロールバーでスクロールしてください



3.5. 先ほど保存したパスの「CertExchange.cer」ファイルをダブルクリックします



3.5.1. 証明書の情報の画面で、何もせず[OK]ボタンをクリックして閉じます



3.5.2. 使用後の「CertExchange.cer」ファイルは不要なので、削除して結構です

3.6. 前述の手順[1.4.電子署名の再検証]を実施してください

以上